



部署紹介：臨床工学室

こんにちは、臨床工学室です。

病院の中では医師や看護師の他に、レントゲン・CT・MRIなどを扱う診療放射線技師、血液や細菌検査・心電図や脳波などの検査を行う臨床検査技師、リハビリテーションを行う理学療法士、薬剤師などが働いています。我々『臨床工学技士』も病院で働く医療技術者です。通称 ME (Medical Engineer) や CE (Clinical Engineer) と呼ばれています。



臨床工学技士

竹内 勝

臨床工学技士の制度が出来たのは比較的新しく、1987年に制定されました。臨床工学技士になるには、定められた学校で医療系の分野に加え工学系の分野も勉強し、国家試験を受ける必要があります。

臨床工学技士とは、「医師の指示のもとに生命維持管理装置の操作および保守点検を業務とするもの」と定められています。当院での主な業務内容は、血液浄化機器、人工呼吸器、補助循環機器をはじめ、医療機器全般に至る機器の操作・保守管理業務などです。

現在、金沢市立病院臨床工学室では所属する3名の技士が、透析センター業務、血液浄化業務（病棟にて）、手術室、HCU業務、CPAP業務、医療機器全般の保守管理業務などなど…多岐にわたる業務に携わっています。また、365日24時間いつでも病院からの要請に応えられる体制をとっているなど、安全な医療現場づくりのため日々努力しています。

○臨床工学技士はこんなことをしています。



輸液ポンプ 点検



透析業務
(透析センターにて)



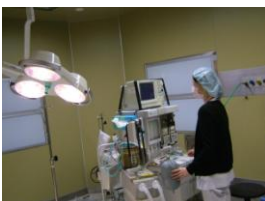
人工呼吸器管理



緊急血液浄化
(病棟にて)



除細動機の点検



手術室業務
(麻酔器の点検)



HCU 業務
(補助循環装置 管理中)

編集後記

本年4月より金沢市の公式 Facebook “いいね金沢” が開始され、当院に関する話題もこの Facebook ページでの紹介を開始します。それに伴い「スクラム」の発行は随時として、年1号程度の発行とさせていただきます。

Facebook を活用することで、これまで以上にタイムリーに当院の話題・情報を皆様方に提供できるようになると考えておりますので、是非とも Facebook に登録いただきまして、“いいね金沢”をごらんください。

金沢市立病院 地域連携室

TEL:245-2626 FAX:245-2693

お問い合わせ・ご予約などお気軽にご連絡ください。

<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/36001/byouin/index.jsp>



スクラム



金沢市立病院新中期計画

金沢市立病院は、平成19年度に金沢市立病院経営改善会議からの答申と実施行程表の提言を受け、病院の医療の質の改善・経営の効率化を行ってきました。平成23年度はその最終年度であり、外部評価委員会にこの間の外部評価を実施していただきました。外部評価の結果では、基本計画目標項目124項目中、達成91項目(73.4%)、概ね達成13項目(10.5%)と達成率は83.9%でした。経常収支は5年のうち4年間は黒字となり、入院延べ患者数は約1万人増加、平均在院日数は2.5日短縮、救急入院患者数は1.8倍の増加、診療材料費は10%減少と経営改善効果がみられました。診療面では、医師5名の増員、メタボリックシンドロームセンター・呼吸器センター・脳センターの設置、電子カルテ・DPCの導入、管理型初期臨床研修病院への参加、7対1看護基準の取得、ホスピタリティー・アートの展開等多くの改善が行われ、この5年間で病院としての基本的部分はかなり整備されました。しかしながら自治体病院としての特色の発揮という面では、まだ不十分な状態であり、今後も引き続き改革を行う必要があると考えております。



病院長

高田 重男

そこで今回、金沢市立病院運営諮問会議とご相談し、平成24年度からの新中期計画を作成しました。病院の使命は“地域の皆さんとともに作る安全・安心・味わいの医療”としました。味わいの医療としたのは、患者さんに安らぎの空間を提供するのみならず、病院の運営に積極的に参加していただくために能動的表現としました。基本方針としては、1) 住民参加型の医療、2) 公益性・公共性の確保、3) 救急医療・先進医療・チーム医療等の病院機能の強化、4) 病院マネジメント・経営企画力の強化と効率的・即応性のある経営形態の構築、5) 職員の教育・研修・研究機能の強化、6) 安らぎの空間の提供と地域貢献をあげました。

提供する医療の質は、そこに働く職員の資質に大きく依存します。今回の中期計画においても職員の教育・研修・研究機能の強化を基本方針の大きな柱としました。米国の医学教育においても、従来の問題基盤型教育(PBL)やクリニカルクラークシップのみでは、課題探求・解決能力のある人材の育成には不十分であるとの考えから、一部の医学校では臨床疫学研究を教育プログラムに加えています。臨床研究を行うことは、教育、研修効果を高める大切な手段であり、当院においても研究機能の強化が重要と考えております。施設面では、教育研修室を整備するとともに、医療統計などのソフトをいれたIT機器の整備、教育研修委員会に臨床研究支援室の設置を行いました。臨床検査室では、金沢大学保健学類臨床検査医学専攻の卒業研修を受け入れ、初期臨床研修プログラムには臨床疫学研究を選択科目として加えております。また、科学研究費などの競争的資金の獲得にも積極的に取り組み、平成23年度・24年度ともに2件採用されました。さらに今後は、開発型医療への取り組み、大学院社会人入学に対する奨学金制度なども取り組む予定であります。

なお、病院の広報にFacebookを導入しました。みなさんの忌憚のないご意見をいただけたら幸いと存じます。



2012年度を迎えて～地域連携室長ご挨拶～

本年4月より腎臓内科と内分泌・糖尿病内科の2科を新たに標榜することとなりました。これに伴いまして当院内科の体制が変更となり、内科長 杉本尚樹（副院長）、腎臓内科長 高桑浩、内分泌・糖尿病内科長 小池伸彦となります。また、消化器内科1名、腎臓内科1名、呼吸器内科1名、脳神経外科1名の医師が着任し、医師37名体制となりました。これまで以上によりよろしくお願い申し上げます。

そのほか同月より4名の初期臨床研修医が当院で研修を開始しました。男性2名は2年間、女性2名は、金沢大学とのたすき掛けで1年間の研修期間です。病診連携においてお世話になると思いますので、御指導、御鞭撻のほどお願い申し上げます。



地域連携室長
腎臓内科長

高桑 浩

○新任医師・研修医のご紹介



[趣味・特技]
ドライブ

頑張りますので、
宜しくお願いします。

消化器内科
稲田 悠記
いな ゆき



[趣味・特技]
映画鑑賞・旅行

笑顔・誠実・フットワークを心がけています。よろしく
お願いします。

腎臓内科
大島 恵
おしま めい



[趣味・特技]
ゴルフ

社会に貢献できるよ
う頑張りますので、よろ
しくお願いします。

呼吸器内科
原 丈介
はら じょうけい



[趣味・特技]
旅行

がんばります。

脳神経外科
吉田 優也
よしだ ゆうや



[趣味・特技]
スノーボード
ロードバイク

周りから色々な
なことをどんどん吸収してい
きたいです。よろしく
お願いします。

研修医
石井 翠
いしい りさ



[趣味・特技]
茶道
映画鑑賞

教えていた
だけることは
何でも勉強し
て充実した1
年としたいで
す。

研修医
曾川 亜紀子
そがわ あきこ



[趣味・特技]
旅行

自分の至ら
なさを痛感す
る毎日ですが、
周りから少し
でも多くのこ
とを吸収でき
るように頑張
ります。

研修医
中瀬 啓介
なかせ けいけい



[趣味・特技]
楽しく
お酒を
飲む！

良医とな
れるように、
知識と技術
を身につけ
たいです。

研修医
平川 祐希
ひらかわ たけの



育児短時間勤務制度

出産後も女性が仕事を継続していく上で、育児短時間勤務制度は非常に有用な制度です。育児休暇は、育児の上ではもちろん有利ですが、長く休めば休むほど、第一線の仕事に戻るのに時間がかかると考えられるからです。

私は二児の出産後いずれも半年で復帰し、非常勤として外来中心に働いてきました。今回のお話をいただいた時、呼吸器内科は重症患者や急変が多いため、病棟を持つのは難しいのではないかと心配していました。正直とても迷いましたが、他の女性医師の妊娠・出産時には手伝ってあげたいという気持ちが強く、お引き受けしました。

育児をしながら、常勤医として責任ある仕事ができることは大きなメリットです。外来だけの勤務でも、専門医としてできる限りのことをしてきましたが、毎日病院にいて患者さんをみるのとは違います。以前はどこにも属さない不安感がありましたが、今はきちんと腰を据えて働けるようになりました。スタッフもあたたかく受け入れてくれています。かといって、いいことばかりでもありません。自分の勤務時間が短ければ、周囲に負担がかかります。夜間休日の急な病棟対応は、他の先生にお願いすることがほとんどです。心苦しさはありますが、現在自分にできる精一杯のことをするしかありません。

女性ばかりではなく、男性医師の勤務状況も非常に過酷です。家事育児の負担も多かれ少なかれあるでしょう。男女平等に、時間外は待機/当直医対応であれば理想的ですが、医師数が充足しないと成立しない勤務体系です。医師数確保の一つの方策として、女性医師が結婚出産を機に仕事をやめないシステム作りが必要です。女性医師もそれに甘えず、常にスキルを磨くことが求められます。自分は微力ながら、後進が育児短時間勤務を利用できるように、周囲の理解を得る努力を続けていきたいと思っています。



呼吸器内科 医長

古荘 志保



イベント「金沢の食材を用いて高血圧の予防」に参加しました

毎年5月17日は「高血圧の日」です。これは、高血圧の危険性を一般の方々に認知してもらうことを目的に日本高血圧学会と日本高血圧協会が制定したものです。

去る5月19日（土）に日本高血圧協会石川県支部主催の高血圧の日記念イベント「金沢の食材を用いて高血圧の予防」が近江町いちば館にて開催され、当院も参加しました。

午前中にいちば館前で無料血圧測定を行ったところ、200名を超える一般の方々にご参加いただくことができました。また午後の市民公開講座にも多くの一般市民の皆様が参加され、血圧に対する関心の高さを感じました。

